



# 据付方法 つづき

## ■引きひもタイプ④の場合

1. 壁穴より50mm以上かつコードの届く範囲にコンセントを設置する。

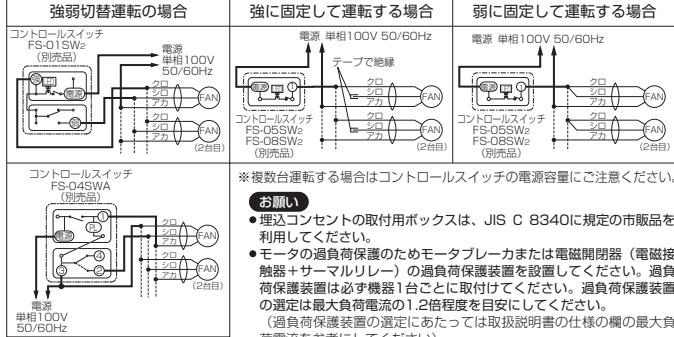
## ■メッシュタイプ給気形⑤・厨房用メッシュタイプ⑥・フィルター付タイプ⑦の場合

1. 結線をする。(本体据付け後行います)

(1) ケーブルからの配線色を確認し、確実に単相100Vに接続する。\*ビニルキャバタイヤケーブルの為露出配線となります。

(2) D種接地工事(アース)を行う。

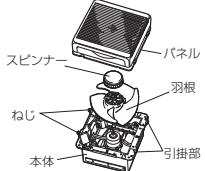
〈結線図〉



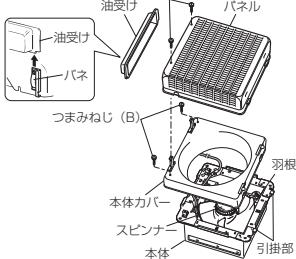
※太線部分の結線を行ってください。

- お願い
- ・埋込コンセントの取付用ボックスは、JIS C 8340に規定の市販品を利用して下さい。
- ・モータの過負荷保護のためモータブレーカまたは電磁開閉器(電磁接触器+サーマルリレー)の過負荷保護装置を設置してください。過負荷保護装置は必ず機器1台ごとに取付けてください。過負荷保護装置の選定は最大負荷電流の1.2倍程度を目安にしてください。(過負荷保護装置の選定にあたっては取扱説明書の仕様の欄の最大負荷電流を参考にしてください)

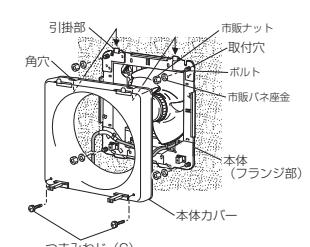
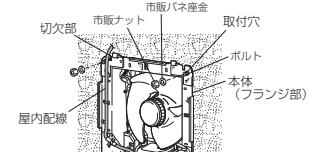
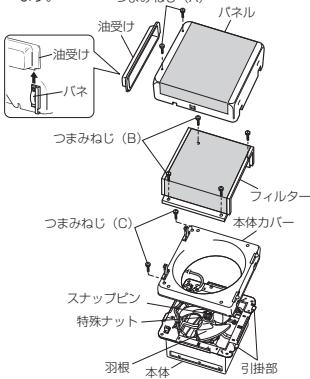
※図は格子タイプを示します。



※図は厨房用メッシュタイプ(25cm)を示します。



※図は厨房用フィルター付タイプ(35cm)を示します。



## 3 本体の取付け

### ■1 2 3 4 7 タイプ (厨房用を除く) の場合

#### 1.パネル・スピナーナー・羽根をはずす。

- (1) パネルは下側にあるねじ(2本)をゆるめ、左右を持って上部の引掛部よりはずす。
- パネルの格子部分は取りはずさない。(破損の原因)
- (2) スピナーナーは羽根を軽く持って「ユルム」の方向に回してはずす。羽根は切欠部を合わせて手前に引いてはずす。

#### ■厨房用メッシュタイプ⑤ フィルター付タイプ⑥の場合

##### 1.油受け・パネル・スピナーナー(35cmはナット・ワッシャー・スナップピン)・羽根をはずす。(メッシュタイプ)

- (1) 油受けは、上にスライドさせてはずす。
- (2) パネルは正面にあるつまみねじ(A)(2本)をはずし、左右を持って上部の引掛部よりはずす。
- (3) 羽根をはずす。
  - 25・30cmタイプの場合は、羽根を軽く持って、スピナーナーを「ユルム」の方向に回してはずす。
  - 35cmタイプの場合は、輪からスナップピンを抜いてから羽根を持ってナット・ワッシャーをはずす。羽根は手前に引いてはずす。
- (4) 本体カバーの正面にあるつまみねじ(B)(2本)をはずし、左右を持って上部の引掛部よりはずす。

#### (フィルター付タイプ)

- (1) 油受けは、上にスライドさせてはずす。
- (2) パネルは正面にあるつまみねじ(A)(2本)をはずし、左右を持って上部の引掛部よりはずす。
- (3) 本体カバーに固定しているフィルターのつまみねじ(B)(4本)をはずす。
- (4) 羽根をはずす。
  - 25・30cmタイプの場合は、羽根を軽く持って、スピナーナーを「ユルム」の方向に回してはずす。
  - 35cmタイプの場合は、輪からスナップピンを抜いてから羽根を持ってナット・ワッシャーをはずす。羽根は手前に引いてはずす。
- (5) 本体カバーの正面にあるつまみねじ(C)(2本)をはずし、左右を持って上部の引掛部よりはずす。

### ■1 2 3 4 7 タイプ (厨房用を除く) の場合

#### 2.本体を据付ける。

- (1) 屋内配線を本体上部の切欠部から本体内部に引き込む。(耐温形格子タイプ・引きひもタイプ・メッシュタイプ給気形を除く)
- (2) 本体の取付穴(4か所)にボルトを通して、市販のバネ座金・ナットで確実に固定する。
- (3) 結線をします。(電気工事(裏面の結線図)を参照してください)

#### ■厨房用メッシュタイプ⑤・フィルター付タイプ⑥の場合

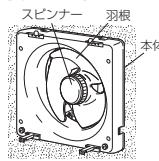
#### 2.本体・本体力バーを据付ける。

- (1) 本体の取付穴(4か所)にボルトを通して、市販のバネ座金・ナットで確実に固定する。
- (2) 本体力バーの角穴を本体上部の引掛部に差し込む。
- (3) 本体力バー正面からつまみねじ(C)(2本)を取付ける。

#### ●お願い

- ・本体のフランジ部と壁の間にすき間がないようにしてください。
- ・システム部材の木枠・不燃枠・取付枠・絶縁枠に据付ける場合は、本体上下の4か所の取付穴を利用し確実に固定してください。

※図は厨房タイプを示します。



3  
3

## ■全タイプ共通

### 3.羽根・スピナーナー(厨房用35cmはナット・ワッシャー・スナップピン)を取付ける。

#### ●20~30cmタイプの場合

- (1) 羽根とモーター軸の切欠部(○)を合わせて羽根をモーター軸に差し込む。
- (2) 羽根を持ってスピナーナーを「ユルム」の反対方向に回し羽根に当たるまで締め付ける。

#### ●厨房用35cmタイプの場合

- (1) 羽根とモーター軸の切欠部(○)を合わせて羽根をモーター軸に差し込む。
- (2) ワッシャーを通して、ナットを締付トルク(5.8~6.3N・m)で確実に締め付ける。
- (3) 軸にスナップピンを差し込む。

## ■1 2 3 4 7 タイプ (厨房用を除く) の場合

#### 4.パネルを取り付ける。

- (1) パネルの角穴を本体上部の引掛部に差し込む。(角穴に確実に差し込みないと、羽根とパネルが接触して、故障するおそれがあります)
- (2) 下側の切欠部を本体のねじ(2か所)にはめ込みねじを締め付ける。

#### ■厨房用メッシュタイプ⑤・フィルター付タイプ⑥の場合

#### 4.パネル・油受けを取付ける。

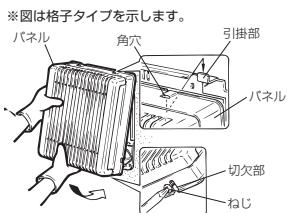
- (1) パネルの角穴を本体力バー上部の引掛部に差し込む。
- (2) パネルと本体力バーを正面からつまみねじ(A)(2本)により取付ける。
- (3) 油受けを図のようにスライドさせ、「カチッ」と音がするまで押し込む。

#### (フィルター付タイプ)

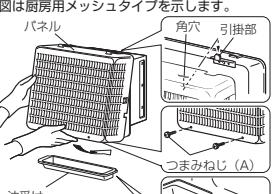
- (1) フィルターを本体力バーにつまみねじ(B)(4本)により取付ける。
- (2) パネルの角穴を本体力バー上部の引掛部に差し込む。
- (3) パネル・本体力バーを正面からつまみねじ(A)(2本)により取付ける。
- (4) 油受けを図のようにスライドさせ、「カチッ」と音がするまで押し込む。

#### ●お願い

- ・パネルがねじで確実に取付けられているか確認してください。確実に取付けられていないとパネルが落下するおそれがあります。



3  
4

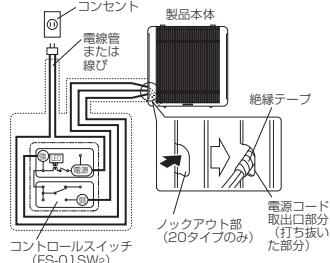


#### 5.フィルター付タイプの場合



## 露出配線工事の場合

〈標準タイプ①、格子タイプ②、メッシュタイプ(排気形)③〉



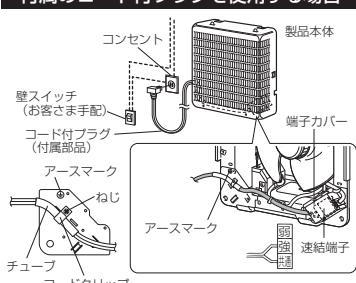
#### ■露出配線はパネル側面の左から取出す。

- (1) 取出位置のノックアウトを打ち抜く。(20cmタイプのみ)
- (2) 左図のように結線する。
- (3) 露出配線の傷付きが生じないように市販の絶縁テープを電源コード取出口部分(打ち抜いた部分)の露出配線に巻き付ける。

#### ●お願い

- ・露出配線が引っ張られたとき速結端子に張力が加わらないよう市販のコードクリップで露出配線を止めしてください。

## 付属のコード付プラグを使用する場合



#### 〈標準タイプ① 格子タイプ②、メッシュタイプ(排気形)③〉

#### ■コード付プラグはパネル側面から取出す。

- (1) 取出位置のノックアウトを打ち抜く。(20cmタイプのみ)
- (2) 付属のコード付プラグをアースマーク下部のねじとコードクリップを使用して固定する。
- コード付プラグのチューブはコードクリップ・電源コード取出口(打ち抜いた部分)の位置にくるように止める。
- (3) 端子カバーを外し、付属のコード付プラグを端子ボックスの表示を参照して確実に結線する。
- 「弱」運転にする場合は、強と弱を短絡させる。

## 試運転

据付けが終わりましたら、次の手順に従って試運転をしてください。

#### 1. 正しく電気工事がされているかご確認ください。

- 正しく結線やアース工事がされていますか
- 電源コードに傷やいたみはありませんか

#### 2. プレーラーを入れ、試運転をしてください。

#### ■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原 因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のプレーラーが「切」になっている 正しく結線されていない	プレーラーを「入」にする 結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部)
運転中に異常音や振動がある	本体・パネル等が確実に据付けられていない 羽根・パネル等に異物が付着している	据付け直す 異物を取り除く